

## 「光の道」構想に関する意見

意見提出元	個人
意見項目	意見内容
<p>1. 超高速ブロードバンド基盤の未整備エリア(約10%の世帯)における基盤整備の在り方についてどのように考えるか。</p>	<p>使いたい人がいるのに基盤が整備できていない状況は改善しなくてはならないが、使いたい人が少ないのに過剰な基盤整備をする必要はない。これは未整備エリアに限らず全体に対して言えることである。</p> <p>そもそも使いたいサービスのために人はインターネットを利用するのであり、サービス面の充実化を十分に考慮せずに、とりあえず基盤だけ過剰に整備するという考え方には賛成し難い。</p> <p>「インターネット利用率」と「利用目的」に応じて合理的な基盤整備を行うべきであると考えます。</p>
<p>2. 超高速ブロードバンドの利用率(約30%)を向上させるためには、低廉な料金で利用可能となるように、事業者間の公正競争を一層活性化することが適当と考えられるが、NTTの組織形態の在り方も含め、この点についてどのように考えるか。</p>	<p>私も「低廉な料金で利用可能となるように」との意見に同感で事業者間の公正競争を切望する。</p> <p>現在NTT東西の利用部門とNTTコミュニケーションズを合算した固定系の売上高シェアは約75%で競争事業者を大きく上回っており、とても公正であるとは言えないため、他の競争事業者への行政上の支援等を緊急に進めるべきであると考えます。</p>